

79期 7月 重大事故 7件

作成日：2023年8月16日

安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地…対策完了 赤字…対策予定、継続中

区分	事故受付No	事故発生日	発生時間		地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容		
			名称	本・支店、工場													
1	J7900108	2023/7/1	土	午前 9:50	九州			作業	48	11ヶ月	高圧真空遮断器1個破損 (損害金¥1,000,000)	-			貨	高圧真空遮断器を保管ラックより移動する際、抜き出せたとはいハドルを左側に切っしまい右側にあった製品に接触し、奥に積んでいた製品2台が架台上で転倒させ、転倒製品の修正作業の養生を解いた際に製品を破損させてしまった。	
	確認日	2023/7/27	木	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後方に配線のドラムが架台より少し飛び出た状態だった為ハドルを左側に切ってしまった。</li> <li>■ 製品が通常より大きな製品である事はわかっていたが、完全に抜き出せていると思込んでいた。</li> <li>■ バック走行しながらリフトを降ろす作業が通常作業になっていた。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 実作業の前に通路の確保を行う。⇒ 7/25より実施中</li> <li>□ 荷が置場から完全に抜けている事を目視で確認する。⇒ 7/25より実施中</li> <li>□ 架台から製品を抜き出し、ハドルを切る前にフォークを下まで降ろす事を厳守する。⇒ 7/25より実施中</li> </ul>									
2	J7900112	2023/7/3	月	午後 13:30	中四国			作業	21	8ヶ月	左足甲打撲	14日	-			労	木パレットを荷台上で回転させて卸す際に、地上の作業員に受け止めさせようとしたが、荷台上の足場が悪く姿勢が不安定で自重に耐え切れず地上にいた作業員の左足の甲に落下させた。
	確認日	2023/7/25	火	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 荷台のパレットを人力で卸そうとした。</li> <li>■ 不安全作業を行った。</li> <li>■ 乗務員の危険予知不足。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ パレットはリフトで荷卸しする。⇒ 7/3より実施</li> <li>□ 乗務員・作業者への事故事例周知。⇒ 7/3実施済</li> <li>□ K Y Tによる危険への感性を身に着けられる様教育を進める ⇒ 7/3より実施</li> </ul>									
3	J7900119	2023/7/4	火	午後 13:30	東関東			乗務	44	3年 5ヶ月	車両全焼 製品全損 (損害金400,000円)	-				交	納品先へ部材を輸送中、トラックエンジンの警告ランプが点灯。エンジンのパワーが落ちたため、車両を路肩に停止しエンジンを切ったが、エアクリナー一辺りから発火し全焼した。
	確認日	2023/7/14	金	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本車両は、2023年2月、3月にギア、クラッチ、ミッション、インジェクターなどオーバーホールを行っており、2023年4月車検も実施済み。</li> <li>■ 7/28 車両メーカー、消防署、警察署の立会いの下、本車両の事故原因究明の検証を実施。ターボ内部のアルミ製のハネが溶けておりターボ内部からエアクリナー内部の何処か発火したことが原因。しかし、火元の断定はできなかった。</li> <li>◆ 上記内容から、車両火災の真因の判明には至らなかった。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 日常点検・車両点検方法の再周知 ⇒ 7/14実施済み</li> <li>□ 異常時（イジケータランプ点灯時）の処置・点検整備手段を車両取り扱い説明書の手順にしたがって教育する。⇒ 8/16より実施</li> </ul>									
4	J7900132	2023/7/12	水	午前 3:50	東関東	竜ヶ崎	■■■■	乗務	42	11年 9ヶ月	相手方) 死亡	-	-			交	通勤時、左前にゴマ出し中の女性が道路を横断していたことに気が付くのが遅く、車の左前と被災者が接触した。即、救急車を手配したが、事故処理中に死亡したという結果になってしまった。
	確認日	2023/7/20	木	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いつもの通勤時間でいつもの道で、その時間は人通りが無く、漫然とした運転であった。</li> <li>■ スピードも抑えていたので、運転も安心しきっていた。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全従業員へ朝礼時に事故事例周知と注意喚起 ⇒ 7/13実施</li> <li>□ 安全衛生委員にて「交通事故防止」と「安全運転の心得」の資料を用いて注意喚起 ⇒ 7/20実施</li> <li>□ 協力会社へは協力会安全衛生協議会にて、事故事例周知と「交通事故防止」と「安全運転の心得」についての資料を用いて注意喚起 ⇒ 7/19実施</li> <li>□ 全従業員に対してビデオ（「業務運転中の事故を防げ」、「自分ルールを見直す～初心に返って安全運転～」）を用いての交通安全教育の実施 ⇒ 7/13より実施中</li> </ul>									
5	J7900141	2023/7/13	木	午前 11:00	中四国	岡山	(瀬戸内陸運)	乗務	71	1年 6ヶ月	精密機器（プラント用制御盤） 全損 (損害金50,000,000円)	-	完和物流			貨	精密機器を搬送中、シート養生を2枚掛けしていたが、養生が緩く、雨風でシートが剥がれた状態で荷卸し先まで走行したため雨濡れが発生した
	確認日	2023/7/25	火	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積み荷の特性、形状を把握していなかった。</li> <li>■ 荷物に合わせたトラックシートが用意できていなかった。</li> <li>■ 小さいシートを用意していたが、突風により2枚目が剥がれた。</li> <li>■ 天候の予測がで予測できていなかった。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 製品特性、形状を乗務員に把握させる。⇒ 7/25より実施中</li> <li>□ 荷物に合わせたシートを準備させ天候に関わらずシート掛けをさせる。⇒ 7/25より実施中</li> <li>□ 出発時に行先の天候を確認・予測し追加対策や作業指示があれば送り出し教育に追加する ⇒ 7/25より実施中</li> <li>□ 同業者から仕事を受ける際は荷物情報の詳細（長さ、巾、高さ、重量、遵守項目、製品の金額）を確認したうえで受けるようにする。） ⇒ 7/25より実施中</li> </ul>									
6	J7900150	2023/7/21	金	午後 9:30	東関東	竜ヶ崎	■■■■	作業	60	27年 2ヶ月	右上腕骨近位端及び、右肩甲骨骨折	-	DH竜ヶ崎工場			労	廃棄物のコンテナ（20m3）横の昇降台に上り、偏って積載されていたのでならそうとして片足をコンテナに掛けたとき意識が朦朧とし、コンテナに掛けていた足が滑って転落し骨折した。
	確認日	2023/7/28	金	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 昇降台にのぼるときはハーネス着用だが、未着用。コンテナ内に入らないのでハーネスはしなくてよいと思った。</li> <li>■ 不安定なコンテナ横壁に足を掛けて作業した。</li> <li>■ やらなくて良い作業であったが、コンテナが濡れていたため、自らの判断で当該作業を行った。</li> <li>■ そもそも、慣らし作業自体が、リスクのある作業であった。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ コンテナ内ならし作業は現状は中止としステージの撤去を行った。（禁止の表示済み） ⇒ 7/22実施中</li> <li>□ コンテナに投入する時のドライバーは、必ずハーネス着用で作業をする。 ⇒ 7/22実施中</li> <li>□ 今回の事案と対策を関係者に周知する。 ⇒ 7/24実施済</li> <li>□ 安全に均し作業ができるように、新規昇降ステージを作成していただく。（ハーネス未着用でならし作業が出来るステージ。但し、コンテナ内は入らない） *新規昇降ステージが完成するまでは、均し作業は中止。</li> </ul>									
7	J7900161	2023/7/27	木	午後 12:00	中四国	赤坂	(大分総合物流)	乗務	56	1年 4ヶ月	車両) フロントガラス・キャビン天井破損 構築物) エアコン室外機破損・建屋屋根破損の傷	-	DH岡山工場			交	製品積込完了後、退場手続きのため守衛室前に車両を停車したが、サイドブレーキの引き忘れ及び輪止め未実施により、車両が動き出し守衛室に突っ込んだ。
	確認日	2023/7/31	月	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サイドブレーキの引き忘れ</li> <li>■ 輪止めの未実施</li> <li>■ 停車場が傾斜地である。</li> </ul>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 受付時にクポイントレスシートをもとに、サイドブレーキ・輪止め実施の指導を行う。 ⇒ 7/27より実施中</li> <li>□ 車両停車場所にコーンを設置し【サイドブレーキ注意】【輪止め実施】の表示。 ⇒ 7/27より実施中</li> <li>□ 日々の管理者・安全管理者パトロールで守衛室前の輪止め実施状況の確認項目を追記して確認、指導を行う。 ⇒ 7/28より実施中</li> </ul>									